

こどもが主役の街「キッズニア甲子園」 期間限定パビリオン『南極研究所』が登場

～ ドーム型シアターやタブレット端末を使って南極のペンギン観測が体験できる！～
 開催期間：2019年7月20日(土)～2020年1月31日(金)

こどもが主役の街「キッズニア甲子園」(兵庫県西宮市)は、KDDI 株式会社※1ならびに国立極地研究所※2の協力のもと、2019年7月20日(土)～2020年1月31日(金)までの期間限定で「南極研究所」パビリオン※3をオープンいたします。

こども達は南極地域観測隊の一員となり、生物学者として南極について学び、南極に生息するペンギンの個体数の観測をします。

南極地域観測は、南極条約に基づき、国際協力のもと国が実施する事業の一つ。1956年の観測開始から60年以上にわたり、超高層物理学、気象学、雪氷学、生物学、地学など広範囲の分野で研究活動が続けられてきました。マイナス40度にもなる厳しい世界で自然現象の調査や研究を続ける南極観測隊の仕事を体験することで、地球環境のこれからについて学ぶことができます。

なお、今回の「南極研究所」パビリオン内では、ドーム型シアターとオリジナル映像コンテンツを使用するほか、ペンギン観測にはタブレット端末や専用のVR映像を用いる予定です。先端技術を組み合わせた本パビリオン限定のアクティビティを通じ、リアリティを迫った“生物学者”体験をお楽しみいただけます。

※1: KCJ GROUPとKDDIは、キッズニアを通じたこども達の生きる力を育むための学びの機会と5G、IoTなど先端技術を融合し、こどもの成長における新しい体験価値の共創を目的とした包括的パートナーシップを構築しています。

http://www.kidzania.jp/corporate/common/pdf/181010_kddi_kcj.pdf

※2: 南極観測事業の中核的実施機関

※3: キッズニア東京でも同様のパビリオンを期間限定でオープンいたします。詳細は以下URLをご参照ください。

<http://www.kidzania.jp/tokyo/news/detail/post-876.html>

◆期間限定パビリオン「南極研究所」開催概要◆

- ◇実施期間：2019年7月20日(土)～2020年1月31日(金)
- ◇職業名：生物学者
- ◇定員：5名/回
- ◇時間：30分/回
- ◇給料：8キッゾ
- ◇協力：国立極地研究所、KDDI 株式会社



提供：国立極地研究所

【国立極地研究所 本吉洋一氏よりメッセージ】

みなさんは飛んでいるペンギンを見たことがありますか？もちろん、ペンギンは空を飛ぶことはできませんが、海の中を泳ぐ姿は、あのヨチヨチ歩き(そのため、ペンギンは「人鳥(じんちょう)」と漢字で書きます)とは全くちがって、まさに空を飛んでいるようです。エサを捕まえたり、天敵から逃げたりするのです。一見、かわいくユーモラスに見えるペンギンですが、彼らは南極のきびしい自然の中でたくましく生きています。今回、みなさんは南極の生物学者になって知られざるペンギンの秘密に迫ってください。きっと彼らのつぶやきが聞こえてくると思います。



 国立極地研究所

本吉洋一氏プロフィール

1954年千葉県生まれ。国立極地研究所広報室長。1978年北海道大学理学部地質学鉱物学科卒業、1986年北海道大学理学研究科博士課程修了、1987年オーストラリア・ニューサウスウェールズ大学研究員。国立極地研究所地学部門の教授などを歴任し、2016年より情報・システム研究機構国立極地研究所広報室長となる。1981年以降、日本の観測隊やオーストラリア隊など、これまでに計11回、南極観測隊に参加。約1年を南極で過ごす越冬隊員としての参加経験もあり、第58次南極地域観測隊では隊長も務めている。

期間限定パビリオン『南極研究所』の詳細については以下をご参照ください。

<http://www.kidzania.jp/koshien/news/detail/post-693.html>